明治四十一年三月

山口縣立山口圖書館概覽

（山口縣立山口圖書館報告第拾）

山口縣立山口圖書館

目次

一　創立及設備ノ概要
二　館則及圖書携出手續
三　職員職務規定
四　職員
五　經費
六　藏書
七　巡回書庫
八　鄕土志料
九　山内紀念文庫
一〇　資金管理規則

附載

一　圖書館令
二　圖書館ニ關スル規定
三　圖書館設置ノ栞

山口縣立山口圖書館巡回書庫

TRAVELING LIBRARIES—YAMAGUCHI PUBLIC LIBRARY.

山口縣立山口圖書館概覽

（山口圖書館報告第拾）

明治四十一年二月末日調

一　創立及設備ノ概要

本館ハ明治三十三年本縣吉敷郡ノ寄附ニ係ル金壹萬圓ヲ縣ニ採納シテ其ノ約七千五百圓ヲ建築費ニ充テ約貳千五百圓ヲ設備費ニ充テ三十五年十二月起工三十六年六月諸般ノ設備略々整頓セルヲ以テ同年七月六日ヲ以テ開館セリ

本館建坪ハ閲覽室百十二坪其ノ他六十七坪ニシテ普通閲覽室ニハ約九十名ヲ容ルヘク特別室及婦人室ニハ各十六名ヲ容ルヘク新聞雜誌閲覽所ト兒童閲覽席トハ通シテ約八十名ヲ容ルヘシ新聞雜誌閲覽所ニハ新聞架及雜誌棚ヲ備ヘ兒童閲覽席ニハ十二年未滿ノ兒童ノ爲メニ特ニ選擇セル圖書數百冊ヲ備ヘ適意ニ閲覽セシム

本館ニ備付クル圖書目錄ハ印刷目錄、カード目錄及帳簿目錄ノ三種トス明治三十七年十月末現在ノ和漢書ニ就キテ分類目錄ヲ印刷シ爾後新着ノ圖書ハ加除自在ナル帳簿目錄ニ依リテ之ヲ整理シ一二ケ月ヲ經テ一定ノ數量ニ達スル毎ニ分類目錄追加トシテ之ヲ印刷ニ付シ又五十音順ニ排列セル書名カード目錄ヲ備付ケ某書ノ有無又ハ某書ノ番號ヲ檢索スルノ便ニ供ス洋書目錄ハ未タ印刷

ニ付セス十進法ニ依ル分類カード目錄ト字書躰カード目錄トヲ備付ク別ニ和漢書明細目錄ヲ備付ケ事彙叢書其ノ他大部ノ和漢參考圖書ヲ檢索スルノ便ニ供ス

本館書庫內ノ圖書陳列法ハ分類ニ依ラス圖書ノ形狀大小ニ依リテ排列整頓シ來リタレトモ現在ノ書庫ハ一時的設備ニ係リ四十年度以降ノ增加圖書ヲ收容スルニ堪エサルヲ以テ四十年四月普通閱覽室ノ兩面ニ八個ノ書函ヲ据付ケ主トシテ日常需要アル通俗圖書約三千冊ヲ(一)宗敎及哲學(二)敎育(三)文學語學(四)歷史傳記地誌紀行(五)法制經濟社會(六)數學理學醫學(七)工學兵事美術產業(八)事彙辭書ニ分類陳列シテ之ヲ公開シタルニ爾來今日マテノ經驗ニ依レハ閱覽人ハ目錄ヲ檢索スルヲ要セス自由ニ適意ノ圖書ニ接觸スルコトヲ得、本館當務者ノ出納ニモ亦至便ナルヲ以テ四十一年度ニ於テ書庫ノ新築竣工ヲ待チテ新書庫內ニ於ケル陳列法ハ悉ク分類整頓ニ更メンコトヲ期ス

二　館則及圖書携出手續

山口縣立山口圖書館規則（三十六年一月山口縣令第一號）

第一章　總　則

第一條　本館ハ博ク內外古今ノ圖書ヲ蒐集シ公衆ノ閱覽ニ供スルヲ以テ目的トス

第二條　本館ノ閉館日ハ左ノ如シ
但シ臨時ノ閉館ハ其ノ都度之ヲ掲示スヘシ

一　歳首　一月一日ヨリ同五日マテ
二　館内掃除　毎月一日
三　紀元節　二月十一日
四　曝書期　十、十一月中凡十日間
五　天長節　十一月三日
六　歳末　十二月二十八日ヨリ同三十一日マテ

第三條　本館ノ開閉時限ハ左ノ如シ

	日曜日並大祭日		其ノ他	
	開館	閉館	開館	閉館
一月　二月　三月　十月　十一月　十二月	午前九時	午後五時	午後二時	午後九時
四月　五月　六月　九月	午前八時	午後六時	午後二時	午後十時
七月　八月	午前八時	午後六時	午前八時	午後六時

第四條　本館ニ功勞アル者及館長ニ於テ必要ト認メタル者ニハ優待券又ハ特別券ヲ贈與ス

第五條　優待劵ヲ所持セル者及館長ノ特許ヲ得タル者ハ特別室ニ於テ閲覽スルコトヲ得

第六條　年齡十二年未滿ノ者及帶醉者其ノ他館內ノ風紀靜肅ヲ害スルノ虞アリト認ムル者ハ登館スルコトヲ許サス但シ年齡十二年未滿ノ者ノ爲ニハ別ニ兒童室ニ於テ一定ノ圖書ヲ縱覽ニ供ス

第二章　閲覽心得

第七條　本館ノ圖書ヲ借覽セントスル者ハ閲覽請求劵ニ書名、部門、冊數、表裝、函號、番號及住所氏名ヲ記入シ掛員ニ差出シテ圖書ヲ借受ケ退館セムトスルトキハ其ノ借受ケタル圖書ヲ返納スヘシ

第八條　館內ニ於テハ音讀雜話其ノ他喧噪ニ涉ルコトヲ許サス

第九條　閲覽人ニ貸與スル圖書ノ員數ハ同時ニ三種以內トシ和裝ハ九冊洋裝ハ三冊和洋ハ合セテ六冊ヲ定限トス

新聞雜誌地圖圖畫等ハ一定ノ種類ヲ限リ兒童室ニ備置キ隨意觀覽セシム

第十條　閲覽人ニシテ本館ノ規則又ハ揭示ニ違背シ若ハ不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ直ニ退館ヲ命シ且ツ登館ノ停止ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條　借覽中圖書ヲ亡失シ又ハ汚損シタルトキハ本館指定ノ現品若ハ相當ノ代金ヲ以テ之

ヲ辨償セシムルモノトス

前項辨償ノ義務ヲ了セサル間ハ本館ノ圖書ヲ借覧スルコトヲ許サス

第三章　圖書寄贈

第十二條　圖書ヲ寄贈セムトスル者ハ書名、員數、價格及住所氏名ヲ詳記シテ本館ニ差出シ許諾ヲ得タル上現品ヲ送致スヘシ

第十三條　寄贈ノ圖書ニハ寄贈者ノ氏名、寄贈年月日ヲ標記シテ永ク其ノ好意ヲ表スルモノトス

第十四條　圖書ノ寄贈ニ要スル運送料等ハ寄贈者ノ負擔タルヘシ但シ時宜ニ依リ本館ニ於テ支辨スルコトアルヘシ

第四章　圖書委托

第十五條　公衆ノ閲覧ニ供スル目的ヲ以テ本館ニ圖書ノ保管ヲ委托セムト欲スルモノハ委托願書ニ其ノ目錄、員數、價格及住所氏名ヲ詳記シテ本館ニ差出シ本館ノ許諾ヲ得タル上現品送致スヘシ

第十六條　委托圖書ニ對シテハ本館ヨリ受托證ヲ交付スヘシ

第十七條　委托圖書ハ本館所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスヘシ但シ委托者ノ承諾ナキモノハ館外ニ携出セシメサルモノトス

第十八條　委託圖書ハ委託者ノ請求ニ依リ隨時返付スヘシ但シ本文請求ノ際受託證ヲ返納スヘシ

第十九條　圖書ノ委託及返付ニ要スル運送料ハ委託者ノ負擔タルヘシ但シ時宜ニ依リ本館ニ於テ支辨スルコトアルヘシ

第二十條　委託圖書ハ不可抗力ニ依リ亡失又ハ毀損シタルモノハ本館ニ於テ辨償ノ責ニ任セス

第五章　圖書携出

第二十一條　山口縣下ニ住スル左記ノ者ハ本館ノ圖書ヲ携出スルコトヲ得

一　本館ヨリ贈與シタル優待券又ハ特別券ヲ有スル者

二　成年者ニシテ直接國稅金貳圓以上ヲ納ムル者

三　官吏公吏及官公立學校職員

四　滿十七年以上ニシテ前各號ノ一ノ資格ヲ有スル保證人ヲ設クル者

館長ニ於テ必要ト認メタル場合ニハ前項ノ資格ニ拘ラス一時限リ携出ヲ特許スルコトヲ得

第二十二條　本館ノ圖書ヲ携出借覽セムトスル者ハ圖書携出手續ニ依リ特許證ノ附與ヲ請フヘシ但シ本館ヨリ贈與シタル優待券又ハ特別券ヲ有スル者ハ此ノ限ニアラス

第二十三條　貴重ノ圖書辭書纂帖目錄類及各學科ニ涉ル參考書類ハ携出スルコトヲ許サス其ノ

他通常ノ圖書タリトモ本館ノ都合ニ依リ携出ヲ許サヽルコトアルヘシ

第二十四條　圖書携出ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

第六章　巡回書庫

第二十五條　巡回書庫ハ地方公衆ノ爲縣下各郡市、公立圖書館ニ又縣立學校職員生徒ノ爲該學校ニ廻付シ閲覽ノ便ニ供スルコトアルヘシ

郡市長、縣立學校長、公立圖書館長ニ於テ巡回書庫ノ廻付ヲ受ケムトスルトキハ所要圖書ノ種類又ハ書名ヲ記シテ本館ニ請求スヘシ

第二十六條　巡回書庫ハ廻付ヲ受ケタル郡市長、縣立學校長、公立圖書館長之ヲ管理シ郡市長ハ便宜ノ場所ニ閲覽所ヲ設ケ閲覽ニ關スル細則ヲ定メ本館ニ報告スヘシ

第二十七條　巡回書庫ノ使用期限ハ郡市及公立圖書館ニ在リテハ四箇月以內、縣立學校ニ在リテハ一學期間トス

第二十八條ノ一　縣下ニ設置セル私立圖書館ニシテ其ノ管理確實ト認メタルモノニ限リ設立者ノ請求ニ依リ巡回書庫ヲ廻付スルコトアルヘシ

第二十八條ノ二　巡回書庫ノ廻付ニ要スル費用ハ廻付ヲ受ケタル郡市、縣立學校、公私立圖書館ノ負擔トス但シ郡市及公立圖書館ニ限リ當分ノ內本館ニ於テ支辨スルコトアルヘシ

第二十九條　巡回書庫ノ閲覽人ニシテ圖書ヲ亡失又ハ汚損シタルトキハ郡市長、縣立學校長、公立圖書館長ハ第十一條ニ依リ之ヲ處分スヘシ
私立圖書館ニ在リテハ設立者ヲシテ辨償セシムルモノトス
第三十條　巡回書庫取扱手續ハ別ニ之ヲ定ム

山口縣立山口圖書館圖書携出手續（三十六年一月山口縣告示第十四號）

第一條　本館規則第二十二條ニ依リ特許證ヲ得ムトスル者ハ左ノ書式ニ依リ願書及證書ヲ差出スヘシ但シ官吏公吏及官公立學校職員ハ證書中市町村長ノ證明ヲ要セス館長ニ於テ必要ト認ムルトキハ當該廳廨ノ在職證明書ヲ差出サシムルコトアルヘシ

（願書式）　特許證附與願　　用紙半紙

私儀貴館備付ノ圖書携出借覽致度候ニ付特許證御附與相成度別紙證書相添此段相願候也

住所業務

年月日

姓名印

年齡

山口縣立山口圖書館長宛

（證書式）　證　書　用紙半紙　收入印紙（參錢）貼用

姓　名

年　齡

右ノ者貴館ノ圖書携出借覧特許相成候上ハ貴館ノ御規則確守可致ハ勿論自然借受ケタル圖書ヲ亡失若ハ汚損シタル（保證人ナラハ「タル」ヲ削リ「本人ヨリ辨償スル能ハサル」トス）トキハ貴館ノ命ニ依リ（保證人ナラハ「拙者ヨリ」）同一ノ圖書若ハ其ノ代價ヲ辨償可致候也

住所業務

年　月　日　本人（保證人）　姓　名　印

年　齡（保證人ナラハ）

山口縣立山口圖書館長宛

右某ハ丁年以上ニシテ當市町村内ニ住シ直接國税貳圓以上ヲ納ムル者ニ相違無之候也

年　月　日　市町村長　姓　名　印

第二條　特許證ヲ附與セラレタル者ハ特許證領收ト共ニ印鑑一枚ヲ差出スヘシ

第三條　携出圖書ハ和裝ハ五冊洋裝ハ二冊和洋合スル場合ハ三冊ヲ以テ定限トス但シ新ニ備付タル圖書ハ一箇月ヲ經タル後定期刊行書類ハ裝釘ノ上ニアラサレハ貸付セス

第四條　圖書携出ノ期限ハ種類ニ依リ十日乃至三十日トス尙ホ引續キ借覽セムトスル者ハ一旦返納シテ更ニ借受ノ手續ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ他ニ同書ノ借受ヲ請フ者アル時ハ續借スルコトヲ得ス但シ借覽期中ト雖本館ニ於テ必要アル場合ハ隨時返納セシムルコトアルヘシ

第五條　圖書ヲ携出セムトスルトキハ其ノ姓名及所要ノ書名、冊數等ヲ閱覽請求券ニ詳記シテ特許證若ハ優待券(特別券)ト共ニ掛員ニ差出シ別ニ備ヘアル圖書特許携出證ノ各欄ニ指定ノ記入ヲ了リタル後書冊ヲ受取ルヘシ

第六條　特許證ヲ有スル者本館規則第二十一條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ新ニ保證人ヲ設ケ保證人其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ本人ニ於テ更ニ保證人ヲ設ケ定式ノ證書ヲ差出スヘシ

第七條　特許證ヲ有スル者他ノ地方ヘ轉スルカ若ハ其ノ他ノ事故ニ依リ爾後本館ノ圖書借受ヲ要セサルトキハ速ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

第八條　特許證ヲ有スル者又ハ其ノ保證人住所ヲ轉シタルトキハ其ノ前後ノ住所ヲ記シ速ニ屆

出ツヘシ

第九條　特許證ヲ遺失シタル者ハ速ニ屆出テ更ニ其ノ附與ヲ請フヘシ

第十條　第四條ノ圖書返納ヲ怠リ第六條ノ手續ヲ怠リタルトキハ爾後其ノ許特證ヲ無効トシ其ノ事情ニ依リ再ヒ之ヲ附與セサルヘシ

第十一條　第七條第九條ノ手續ヲ怠リタルトキハ爾後其ノ姓名ヲ以テ携出シタル圖書ニ就テ本人又ハ保證人ハ其ノ責ニ任スヘキモノトス

第十二條　借受ケタル圖書ヲ亡失若ハ汚損シタルモノアルトキハ本館規則第十一條ニ依リ處分ス若シ本人ニ於テ辨償スルコト能ハサルトキハ保證人ヲシテ其ノ責ニ任セシム但シ其ノ事情ニ依リ特許證ヲ無効トシ且再ヒ之ヲ附與セサルヘシ

第十三條　本縣立學校ニ於テ敎授參考ノ爲圖書ヲ携出セムトスルトキハ當該學校長ノ申出ニ依リ本規定ノ手續ヲ省略シ本館規則第二十三條ノ圖書ニ在リテハ當日限リ其ノ他ノ圖書ニ在リテハ三十日以內ヲ限リ特ニ携出セシムルコトヲ得

三　山口縣立山口圖書館職員職務規程（四十年四月山口縣令第三十二號ヲ以テ三十六年三月山口縣令第二十四號改正）

第一條　館長ハ知事ノ命ヲ承ケ館務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス
館長事故アルトキハ司書其ノ職務ヲ代理ス
第二條　司書ハ館長ノ命ヲ承ケ圖書ノ出納保存及整理ノ事務ニ從事ス
第三條　書記ハ館長ノ命ヲ承ケ庶務會計及圖書ニ關スル事務ニ從事ス

四　職員

館長　佐野友三郎
司書　岩根又重
書記　野波菊太郎
書記　百村徹彌

五　經費

種目＼年度別	三十五年度	三十六年度	三十七年度	三十八年度	三十九年度	四十年度	四十一年度	摘要
山口圖書館費	圓 六〇〇・一五三	圓 八、〇四四・二四〇	圓 六、〇二八・二六七	圓 五、九三九・八七三	圓 六、一四一・五四一	圓 六、四五七・〇〇〇	圓 六、七四三・〇〇〇	
俸給	七五・二六八	一、七七九・四九八	一、七四七・四九六	一、七一一・三八二	一、七七九・四九五	一、九六〇・〇〇〇	二、〇二〇・〇〇〇	館長司書各一、書記二、雇二
雜給	三八・六〇〇	六〇二・五八二	七〇九・六八三	七五一・二五二	七三六・九一五	七七一・〇〇〇	八九八・〇〇〇	監守二、出納手三、小使二、臨時傭人旅費其他
圖書費	―	四、四八〇・九三九	二、一五〇・七〇八	二、一六六・四七〇	二、一七八・九五二	二、一七九・〇〇〇	二、一七九・〇〇〇	購入及修理
館費	四八六・二八五	一、一二七・八七一	一、二七七・二九五	一、一三八・三三二	一、二四九・六六六	一、三三六・〇〇〇	一、三一六・〇〇〇	備消耗品費、電燈費、印刷費、通信運搬費其他
修繕費	―	二一・九九〇	四五・五九〇	七六・四八四	六三・七八一	一九九・〇〇〇	一九九・〇〇〇	
其他	―	三一・三六〇	九七・四九五	九五・九五三	一三二・七三二	一三三・〇〇〇	一三一・〇〇〇	筆耕料其他

備考　一　本表揭クル所ノ費目ハ本縣豫算編成ノ躰例ニ依ラス便宜分合セリ

二　三十五年度乃至三十九年度ハ決算額ヲ示シ四十年度四十一年度ハ豫算額ヲ示ス

六　藏書

四十一年三月末ニ於ケル本館藏書ハ和漢書二萬七百四十四冊、洋書一千四百八十四冊、計二萬二千二百二十八冊ニシテ之ヲ分類スレハ左ノ如シ

		和漢書 冊	洋書 冊	計 冊
第一門	神書、宗教	四三五	一九	四五四
第二門	哲學、教育	三、五〇六	三〇八	三、八一四
第三門	文學、語學	四、六三二	四四五	五、〇七七
第四門	歴史、傳記 地誌、紀行	四、二三七	二三二	四、四六九
第五門	法制、經濟 社會、統計	一、五〇九	一二三	一、六三二
第六門	數學、理學 醫學	一、六一八	七九	一、六九七
第七門	工學、兵事、美術、諸藝、産業	二、六八一	一〇〇	二、七八一
第八門	類書、叢書 隨筆、雜書	二、一二六	一七八	二、三〇四
合	計	二〇、七四四	一、四八四	二二、二二八

別ニ委托ニ係ルモノ和漢書洋書ヲ合セテ七千五百十七冊アリ共ニ閲覧ニ供ス

七　巡回書庫（Traveling libraries）

本館ハ其ノ成立狀態ニ鑑ミ一面本縣各種事業ノ參考機關タランコトヲ期スルト共ニ無料公共圖書館主義ヲ採リ本館ノ効果ヲ縣內到ル所ニ普及セシムルノ必要ヲ認メ五十册乃至百册內外ノ通俗圖書ヲ一定ノ書函ニ收メ使用期限ヲ定メテ之ヲ各所ニ廻付シ所在公衆ノ閱覽ニ供スル方案ヲ設ケ之ヲ巡回書庫（ツラヴエリング、ライブラリーズ）ト稱シ三十七年一月ヨリ施行セリ（本館規則第六章巡回書庫ニ關スル規定參照）始メテ巡回書庫ノ施設ニ着手シタル當時ハ縣內郡市役所ニ各一個號ヲ配付シ四ケ月每ニ交換シテ郡市長管理ノ下ニ地方公衆ニ閱覽セシメ三十八年度ヨリハ更ニ本館所在地以外ノ縣立學校ニ廻付シテ職員生徒ノ閱覽ニ供シ三十九年度ヨリハ公私立圖書館ニモ亦之ヲ廻付スルコト、セリ目下本館ヨリ巡回書庫ノ廻付ヲ受クルモノハ郡市役所十二、縣立學校七、公私立圖書館十一、計三十個所ニシテ郡市役所ト圖書館トハ四ケ月每ニ交換シ縣立學校ハ一學期每ニ交換シ各所トモ一ケ年ヲ通シテ三個號ノ配付ヲ受クヘキ割合ナリ

巡回書庫ノ編成ハ施設ノ當初ニ在リテハ元本縣知事武田千代三郎氏カ離任ノ際、巡回書庫用トシテ特ニ寄贈セラレタル圖書ヲ主トシ之ニ他ノ寄贈書及本館購入書ヲ併セテ姑ク固定編成トナシ各郡市間ヲ遞送セシメタレトモ郡市學校圖書館ニ於ケル巡回書庫ノ管理者ヲシテ充分ノ責任ヲ以テ之ヲ運用セシメントスルニハ專ラ直接需要者ノ請求ニ基キテ編成スルヲ至當ナリトシ且副本數モ

漸次增加シタルニ依リ三十八年度末ニ於テ巡回書庫ニ編入シ得ヘキ副本ヲ調査シ巡回書庫選擇目錄ヲ編成シテ(爾後隨時增訂追加ス)郡市學校圖書館ニ於ケル巡回書庫交換期日表ト共ニ之ヲ縣內各所ニ配付シ巡回書庫ニ依リテ本館ノ圖書ヲ閱覽セントスル者ハ選擇目錄ニ就キテ希望ノ圖書ヲ選擇シ交換期日一ヶ月前ニ本館ニ請求セシメ本館ニ於テハ請求ニ基キテ一ヶ月內ニ廻付ノ準備ヲ了ヘ期日ヲ違ヘス之ヲ郡市學校圖書館ニ廻付スルトキハ郡市學校圖書館ヨリハ使用ヲ了リタル巡回書庫ヲ本館ニ返送シ來ルカ故ニ本館ニ於テハ圖書閱覽請求簿及特許帶出證ニ就キテ巡回中ノ成績ヲ調査シ歸着シタル圖書ハ請求ニ基キテ更ニ之ヲ他ノ郡市學校圖書館ニ廻付スルナリ(巡回書庫取扱手續參照)

三十七年一月ヨリ四十一年二月マテ郡市學校圖書館ニ廻付シタル巡回書庫ノ成績左ノ如シ

廻付先	廻付個數	廻付冊數	貸出冊數	閱覽人員
郡市役所	一一九	一〇、五〇一	四四、九三一	三四、三八八
縣立學校	四三	三、二九四	六、六五六	五、〇二三
圖書館	三一	二、三九四	八、七一六	七、二三五
合計	一九一	一六、一八九	六〇、三〇三	四六、六三六

四十一年二月末現在ノ巡回書庫副本ハ四千二百二十六冊ナルヲ以テ之ヲ前表ニ對照スレハ四千二

百二十六册ノ副本ハ今日マテ郡市學校圖書館ニ廻付セラレタルコト一萬六千百八十九回ニシテ此間四萬六千六百三十六人ノ閲覽者ニ貸付ケラレタルコト實ニ六萬三百三回ニ達シタル割合ナリ而モ此回數ハ多クハ數日乃至十數日間、館外ニ貸出シタル回數ニシテ日々館内ニ於テ閲覽セシメタル延册數ニハアラス

限リアル副本中ヨリ各方面ノ請求ニ應シテ遺憾ナク巡回書庫ヲ編成スルノ用意ハ必シモ容易ニアラス而モ圖書ノ選擇如何ニ宜シキニ適スルモ巡回書庫ニシテ一タヒ本館ノ手ヲ離ルレハ之カ運用ハ主トシテ郡市學校圖書館ニ於ケル直接管理者ニ歸スルカ故ニ直接管理者ノ用意如何ハ巡回書庫ノ効果ニ至大ノ關係ヲ有ス而シテ郡市役所ニ廻付スル巡回書庫ハ必竟郡市役所ヲ介シテ汎ク所在公衆ニ閲覽セシメントスル趣意ナルニモ拘ラス郡市役所ニハ別ニ之カ專務擔當者アルニアラサレハ巡回書庫ノ効果ハ動モスレハ郡市役所内ニ局限セラレ往々ニシテ一般公衆ニ及ハサルコト多ク本館當事者ヲシテ中道ニ成功ヲ危フマシメタルコトアリシカ三十九年度以降之ヲ公私立圖書館ニ廻付スルニ及ヒテ全ク一生面ヲ開キ爾來巡回書庫ハ直接ニハ公私立圖書館ヲ介シテ所在公衆ニ接觸スル機會ヲ得間接ニハ公私立圖書館ノ爲メニ圖書ノ不足ヲ補ヒ更ニ公私立圖書館增設ノ動機トナリ公私立圖書館ト相待チテ爰ニ始メテ確實ナル効果ヲ收ムルコトヲ得ルニ至レリ

山口縣立山口圖書館巡回書庫取扱手續（三十九年四月訓令第七號ヲ以テ三十六年一月訓令第四號改正）

第一條　縣立圖書館ニ於テハ巡回書庫ノ發送又ハ交換期日ヲ定メ之ヲ郡市役所、縣立學校、公立圖書館ニ通知スヘシ

第二條　郡市役所、縣立學校、公立圖書館ニ於テ巡回書庫ノ廻付ヲ受ケムトスルトキハ廻付期日一ケ月前ニ縣立圖書館ニ請求スヘシ

引續キ巡回書庫ノ廻付ヲ受ケムトスル場合ニ於テモ前項ノ手續ヲ爲スニアラサレハ縣立圖書館ニ於テハ廻付スルコトナシ

第三條　縣立圖書館ニ於テハ巡回書庫ト共ニ圖書目錄ヲ郡市役所ニ送付スヘシ郡市役所ニ於テハ該目錄ヲ學校、町村役場等ニ配付シテ公衆ニ周知セシムヘシ

第四條　郡市役所、縣立學校、公立圖書館ニ於テ巡回書庫ノ廻付ヲ受ケタルトキハ直ニ領收證ヲ縣立圖書館ニ送付スヘシ

第五條　郡市役所ニ於テハ閲覽所ヲ設クルノ外短期日ノ携出ヲ奬勵シ公衆ヲ誘致シテ圖書ヲ利用セシムル樣適宜ノ方法ヲ講スヘシ

第六條　郡市役所ニ於テ設置シタル閲覽所ニ就キ閲覽スル者ニハ閲覽請求簿ニ圖書ヲ携出セム

トスル者ニハ特許帶出證ニ其ノ住所氏名及所要ノ書名冊數ヲ記入セシムヘシ
縣立學校、公立圖書館ニ於テモ前項ニ準シ閲覧圖書ヲ整理スヘシ
第七條　郡市役所、縣立學校、公立圖書館ニ於テ巡回書庫ノ使用ヲ了リタルトキハ期日ヲ違フコトナク閲覧請求簿及特許帶出證ト共ニ縣立圖書館ニ送付スヘク縣立圖書館ニ於テ之ヲ受ケタルトキハ直ニ領收證ヲ送付スヘシ
第八條　郡市役所ニ於テ閲覧所ノ位置又ハ閲覧ニ關スル細則ヲ變更シタルトキハ直ニ縣立圖書館ニ報告スヘシ
第九條　縣立學校ニ於テ臨時必要ノ場合ハ巡回書庫ニ依ラス圖書ノ廻付ヲ縣立圖書館ニ請求スルコトヲ得
第十條　縣立圖書館ニ於テ巡回書庫ノ返還ヲ受ケタルトキハ其ノ都度閲覧成績ヲ知事ニ報告スヘシ

八　郷土志料

一國ノ文献ヲ蓄積保存スルハ國立圖書館ノ任務ナルカ如ク一地方ノ文献ヲ蒐集シテ廣ク公衆ノ參考ニ資シ永ク之ヲ後世ニ傳ヘ地方人文發達ノ跡ヲ明ニスルハ地方圖書館ノ任務ナラサルヘカラス

本館ニ於テハ圖書目錄中特ニ防長叢書ノ一欄ヲ設ケ苟モ防長二州ノ地ト人トニ關スルモノハ事跡沿革ノ徵スヘキモノハ勿論舊記古文書ヨリ家集雜著ニ至ルマテ刊本ト寫本トヲ問ハス得ルニ隨ヒテ之ヲ收錄スルコト、シ大方諸氏ノ厚意ニ依リ既ニ蒐集シタルモノ亦少ナカラス今寫本中ノ稍々重要ナルモノヲ左ニ揭ク

(一)增補周防記 十五册ノ内十一册　石川忠記編撰　河野通布增補
(二)長門國誌 十六册　中村德美
(三)豐府志略 五册　平井温故
(四)長門名所雜記 三册
(五)閥閱錄 二百六册
(六)防長古器考 百六十一册　林孫兵衛
(七)防長風土注進案 三百九十五册
(八)大內氏實錄引用書 七册　近藤清石
(九)正閏史料 正編八册外編四册　近藤清石
(十)防長古文書誌 三十二册　近藤清石

想フニ先輩ノ文集遺稿類ニシテ曾テ刊行セラレテ今日得易カラサルモノ未タ刊行セラレスシテ其ノ稿本ノ子孫ノ手ニ存スルモノモ亦少ナカラサルヘシ世ノ藏書家篤志家諸氏幸ニ本館微意ノ存スル所ヲ察シ之カ蒐集ニ關シテ一臂ヲ假スニ吝ナラスンハ單ニ本館ノ至幸タルニ止マラサルヘシ

九　山內紀念文庫

故山內文次郎氏カ防長米同業組合組長トシテ本縣農界ニ貢献シタル功績ヲ永遠ニ紀念センカ爲メ三十八年五月以來氏ノ知友相謀リテ資金ヲ募集シ其ノ元金ハ山內紀念資金トシテ之ヲ永遠ニ保存シ其ノ利子ノ三分二ヲ以テ毎年農書ヲ購求シ之ヲ縣立山口圖書館ニ托シテ後進ノ知識開拓ニ資シ其ノ三分一ヲ以テ縣立農業學校生徒奬勵費ニ充ツルノ計畫ヲ立テ山內紀念資金保存會ナルモノヲ設ケ同資金ハ防長米同業組合組長ニ於テ之ヲ保管シ毎年本館ニ委托セラルヘキ農書ハ縣立農事試驗場長及縣立農業學校長ニ協議ノ上購求スルコトヽシ四十年五月ヲ以テ終ハル第一年度分トシテ欽定授時通考外五部ヲ本館ニ委托セラレタリ本館ニ於テ受クル故人紀念圖書ハ實ニ山內紀念文庫ニ始マルヲ以テ發企者諸氏カ本館ノ爲メニ此好先例ヲ開キタルヲ多トシ本館ニ於テハ特ニ山內紀念文庫ノ函架ヲ設クルコトヽナセリ

一〇　山口縣立山口圖書館資金管理規則（四十一年二月山口縣令第九號）

第一條　山口縣立山口圖書館資金ヲ設クル爲寄附金五拾圓ヲ特別會計トシ知事之ヲ管理ス

第二條　本資金ハ當分ノ內之ヲ利殖スルモノトス前條ノ外本資金ニ寄附アルトキハ之ヲ編入ス

第三條　本資金ハ國庫證券ヲ購入スルニ至ルマテハ郵便貯金大藏省預金局又ハ相當ノ利子ヲ以テ確實ト認ムル銀行ニ預入ルヽモノトス

第四條　資金ノ管理ニ要スル費用ハ本經濟ヨリ之ヲ支辨ス

二　縣勢及館勢一班

項目	數	備考
本縣人口	一、〇三〇、九五五人	三十九年末調
歲出總額	一、一九八、〇七三圓	四十一年度豫算
經常費	八九八、七三三	同
敎育費	二三五、五七八	同
圖書館費	六、七四三	同
本館藏書	一九、七三一冊	三十九年度
貸付圖書	一三五、八八五冊	同
閲覽人員	九八、四一八人	同
巡回書庫廻付冊數	五、五八七	同
同　貸出冊數	二七、一三六	同
同　閲覽人員	二三、二七八	同

附載

一　圖書館令（三十二年十一月勅令第四百二十九號）

第一條　北海道廳府縣郡市町村（北海道及沖繩縣ノ區ヲ含ム）ニ於テハ圖書ヲ蒐集シ公衆ノ閲覽ニ供セムカ爲メ圖書館ヲ設置スルコトヲ得

第二條　明治二十六年勅令第三十三號ノ規定ハ圖書館ニ關シ之ヲ準用ス

第三條　私人ハ本令ノ規定ニ依リ圖書館ヲ設置スルコトヲ得

第四條　圖書館ハ公立學校又ハ私立學校ニ附設スルコトヲ得

第五條　圖書館ノ設置廢止ハ其ノ公立ニ係ルモノハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ私立ニ係ルモノハ文部大臣ニ開申スヘシ

第六條　公立圖書館ニ館長、司書及書記ヲ置クコトヲ得（本條以下第六條ノ五マテ三十九年十月勅令第二百七十四號ニテ改正追加）

館長及司書ハ奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケ書記ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ク

第六條ノ二　奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル館長及司書ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ヨリ之ヲ任用ス

一　高等文官ト爲ルノ資格ヲ有スル者

二　學位ヲ有シ又ハ官立學校ヲ卒業シ學士ノ稱號ヲ有スル者ニシテ一年以上敎育又ハ圖書ニ關スル公務ニ從事シ月額四拾圓以上ノ俸給ヲ受クル判任文官以上又ハ判任文官待遇以上ノ職ニ在ル者又ハ在リタル者

三　三年以上敎育又ハ圖書ニ關スル公務ニ從事シ月額四拾圓以上ノ俸給ヲ受クル判任文官以上又ハ判任文官待遇以上ノ職ニ在ル者又ハ在リタル者

第六條ノ三　判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル館長、司書及書記ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ヨリ之ヲ任用ス

一　判任文官ト爲ルノ資格ヲ有スル者

二　三年以上敎育又ハ圖書ニ關スル公務ニ從事シタル者

第六條ノ四　奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル館長及司書ノ任免奏薦及宣行ハ高等官官等俸給令第四條及第五條ノ例ニ依リ之ヲ行ヒ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル館長、司書及書記ノ任免ハ地方長官之ヲ行フ

第六條ノ五　館長又ハ司書ニシテ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ノ官等配當ハ明治二十五年勅令第三十九號中奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル中學校敎諭ノ例ニ依リ館長、司書又ハ書記ニシテ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ノ等級配當ハ同令中中學校助敎諭ノ例ニ依ル

第七條　公立圖書館ニ於テハ圖書閱覽料ヲ徵収スルコトヲ得

附則

第八條　諸學校通則第三條中及小學校令中書籍館及圖書館ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

二一　圖書館ニ關スル規程（三十九年十二月文部省令第十九號）

第一條　圖書館令第五條ニ依リ公立圖書館ヲ設置セントスルトキハ管理者ヨリ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱
二　位置
三　經費及維持ノ方法
四　敷地建物ノ坪數及圖面
五　開館年月日
六　館則

私立圖書館ニ在リテハ前項ノ事項ヲ設立者ヨリ文部大臣ニ開申スヘシ

第二條　圖書館ノ名稱位置敷地建物又ハ館則ノ變更ハ其ノ都度文部大臣ニ開申スヘシ

第三條　公立圖書館ノ經費豫算ハ毎會計年度開始前ニ文部大臣ニ開申スヘシ

三　圖書館設置ノ案

本館巡回書庫ハ直接ニハ公私立圖書館ヲ介シテ所在公衆ニ接觸スル機會ヲ得、間接ニハ公私立圖書館ノ爲メニ圖書ノ不足ヲ補ヒ公私立圖書館ト相待チテ確實ナル効果ヲ收ムルニ至リタルコト既記ノ如ク（巡回書庫ノ項參照）今後更ニ公私立圖書館ノ增設ニ依リテ巡回書庫利用ノ機會ヲ多カラシムルハ本館ノ最モ切望スル所ナレハ爰ニ簡易ナル圖書館ノ設置ニ關スル用意ノ一端ヲ述ヘテ設立者ノ參考ニ供スヘシ

簡易ナル圖書館ヲ經營スルニ當リ先ツ要スル所ノモノハ館員其ノ人ヲ得ルニアリ圖書ノ選擇之ニ次キ館舍ノ設備之ニ次ク圖書館ニ圖書ノ必要ナルハ勿論ナレトモ圖書ノ選擇モ之カ運用モ畢竟館員其ノ人ヲ待チテ始メテ全キヲ望ムヘキナリ故ニ稍々大規模ノ圖書館ニ在リテハ俸給諸給ハ概シテ經費ノ五割乃至六割以上ヲ占ムルヲ例トスレトモ小學校內ニ設置シタル圖書館ニ在リテハ校長其ノ他ノ職員ニ兼務ヲ委囑スルノ便アルヲ以テ俸給諸給ノ大部分ヲ節約スルコトヲ得ヘシ

始メヨリ町村ノ事業トシテ公共圖書館ヲ經營スルハ最モ望マシキ限リナレトモ校友會青年會等ノ事業トシテ小學校內ノ一室ヲ利用スルカ如キ便宜ノ方法ニ依リテ先ツ簡易ノ私立圖書館ヲ經營シ其ノ効果ノ稍々普及スルヲ待チテ之ヲ町村ノ事業ニ移スモ亦不可ナルコトナシ米國ニハ殊ニ此種ノ實

例多ク本邦ニ在リテモ青森市立圖書館ノ如キハ好個ノ適例ナリ若シ二十坪内外ノ教室ヲ使用スルコトヲ得ハ室ノ兩面ニ簡易ノ書架ヲ設ケテ容易ニ二三千冊ノ通俗書ヲ收容スルニ足ルヘク中央ヲ閲覧席ニ充ツルコトヲ得ヘシ縣内ノ既設圖書館中ニハ裁縫唱歌室ヲ閲覧室ニ充ツルモノ少ナカラス斯クスルトキハ書架及圖書ノ備付以外ニハ多額ノ創立費ヲ要セスシテ辨スヘク而シテ設立者ノ用意次第ニテハ地方篤志者ヨリ藏書ノ委托又ハ寄贈ヲ受クルコトモ或ハ容易ナラン唯寄贈又ハ委托ヲ受クルニ際シテハ漫ニ多キヲ貪ルコトナク少數ナリトモ主トシテ日常需要アル圖書ヲ蒐集センコトヲ要ス而シテ新設ノ小圖書館ニ在リテ最モ憂フル所ハ圖書ノ供給ノ繼カサルニアリ圖書ノ供給ニシテ繼カサルニ於テハ館勢ノ動モスレハ不振ニ陷リ易キハ必然ナレトモ巡回書庫ニ依リテ四ケ月毎ニ本館ヨリ新供給ヲ受クルニ於テハ此點ニ關シテ多ク顧慮スルヲ須キサルヘシ

町村ニ圖書館ノ設備アルハ今日ニ於テコソ其ノ町村ノ誇リトモスヘケレ三五年ノ後ニハ形勢全ク一變シテ重立チタル町村ハ社會ノ大勢ニ驅ラレ圖書館ノ設備ヲ強キラレンコト必然ナレハ今後ノ圖書館設立者ハ豫メ此等ノ點ニ注意シ資金ヲ投シテ小學校内ニ館舍ヲ新築スルカ如キ場合ニハ成ルヘク之ヲ平家建ニシテ他日ノ增築又ハ擴張ニ備フルコト肝要ナラン

縣内二三ノ重立チタル公私立圖書館ニ就キテ其ノ四十年度經費豫算ヲ左ニ揭ク

館名＼費目	俸給	雜給	圖書費	館費	修繕費	雜費	基金積立	合計	摘要
村立華南圖書館	圓 二四・〇〇	圓 四・〇〇	圓 九〇・〇〇	圓 二五・〇〇	圓 一〇・〇〇	圓 二・〇〇	圓 —	圓 一五五・〇〇	
村立明木圖書館	—	一八・五〇	六四・〇〇	一三・五〇	五・〇〇	三・〇〇	—	一〇三・七五	圖書費中ニハ備品費ヲ含ム雜給ハ館直賄費、館費ハ消耗品費トス
私立新庄同窓會圖書館	—	—	四〇・〇〇	七・五〇	—	一・二五	三〇・〇〇	七八・七五	
私立宇部圖書館	—	—	三二・〇〇	一五・〇〇	—	三・〇〇	—	五〇・〇〇	館費中ニハ通信運搬費拾圓ヲ含ム
私立西岐波文庫	—	—	一三・〇〇	二七・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	—	五〇・〇〇	圖書費ハ全部裝釘費トス館費ハ備品費ヲ貳圓、印刷及消耗品費拾五圓トス

備考

一 俸給及雜給ノ目カ或ハ極メテ少額ニ或ハ皆無ナルハ各館トモ專任館員ヲ置カス校長及會幹以下ニ於テ兼務スルカ爲メナリ

二 收入ハ華南、明木ノ二館ニ在リテハ村立ナレハ全部村費ノ支辨ニ係リ新庄ニ在リテハ村費補助五拾圓、寄附金貳拾圓、預金利子四圓七拾五錢、設立者タル同窓會々費補助四圓ヨリ成リ宇部ニ在リテハ全部設立者タル宇部共同義會ノ支出ニ係リ西岐波ニ在リテハ設立者タル校友會支出金四拾五圓、村費補助五圓ヨリ成ル